

第43回技術士全国大会（横浜）第5分科会（男女共同参画）開催報告

2016年12月11日 第5分科会主査 岩熊まき

1 第5分科会の概要

日時：2016年11月14日（月）9：30～12：30

場所：パシフィコ横浜アネックスホール2階F206号室

主催：公益社団法人日本技術士会

企画・運営：男女共同参画推進委員会

基本テーマ：女性リーダー育成の社会的課題

プログラム：

司会	中田よしみ
09：30～09：40	趣旨説明：第5分科会主査 岩熊まき
09：40～10：20 第一部 基調講演	テーマ：「理系女子と男女共同参画社会」 講演者：独立行政法人国立女性教育会館理事長 内海房子氏
10：20～10：30	休憩
司会	佐藤律子
10：30～12：10 第二部 討論会	テーマ：「科学技術系専門職である女性技術者の育成、女性リーダーを育む環境整備について」 登壇者：育休後コンサルタント 山口理栄氏 みなとみらい女子会/千代田化工建設株式会社 安和広乃氏 NPO 法人ファザーリングジャパン代表 安藤哲也氏 技術士・東洋建設株式会社 角谷竜二氏 欠席のため話題提供*のみ ※代理 男女共同参画推進委員会委員長 石田佳子 技術士・株式会社 SEC 計画事務所 原田敬美氏（進行）
12：10～12：30	まとめ：男女共同参画推進委員会委員長 石田佳子

2 参加状況

第5分科会の参加者は全体を通して約60名、プログラムが進むにつれ増えていった。技術士会の行事のためか、管理職クラスと思われる男性が多かった。女性の参加者は全体の2割程度。

3 各プログラムの内容

◆ 趣旨説明（第5分科会主査 岩熊まき）

科学技術系専門職である女性技術者の育成や、女性リーダーの育成を育む環境について考える場を設けることにより、男性管理職の啓発の一助としたい旨の趣旨説明があった。

◆ 第一部 基調講演（独立行政法人国立女性教育会館理事長 内海房子氏）

テーマ：「理系女子と男女共同参画社会」

内容：男女共同参画に関するご自身の経験、海外と日本の比較、日本における男女共同参画の意識の変遷などを踏まえ、男女共同参画社会実現のためになすべきことについて提唱された。

◆ 第二部 討論会

(A) 話題提供

① 育休後コンサルタント 山口理栄氏

演題：「組織における仕事と育児の両立に関する課題」

内容：ご自身の経験から、育休後に復職した女性への支援が必要と考え、育休後コンサルタントを立ち上げ、企業向けの研修と通じて管理職や女性の意識の改革などを支援されている。困難な実機を乗り越え、育児と仕事を両立できる社員を増やすための管理職の在り方として、「職場レベルでの働き方改、適切な標設定や仕事配分、長期的なキャリア開発の視点に立ったマネジメント」の3つが重要である。

② みなとみらい女子会/千代田化工建設株式会社 安和広乃氏

演題：横浜市で働く女性ネットワークの紹介

内容：みなとみらい女子会での活動により得られた精神的な支援等について紹介された。女性同士が会社を越えて繋がれる場である。職場においても講演会等の開催により、女性の働き方に対する経営層の考え方が変わりつつある。

③ 技術士・東洋建設株式会社 角谷竜二氏（代理 石田佳子）

演題：建設業界の取り組みと課題

内容：男女共同参画推進に関する建設業界の現状やご自身の考えを紹介され、女性技術士を歓迎する旨のメッセージがあった。

建設業界の取り組みとして、現在では総合評価落札方式により、女性技術者の現場配置を宣言することや技術士の数によって技術点が加点されることとなった。土木建設業界でも変革が起こってきている。女性には建設業界、特に土木業界に夢を持って進出してきてもらいたい。

④ NPO 法人ファザーリングジャパン代表 安藤哲也氏

演題：女性活躍・イクメン・イクボスは3点セットで

内容：企業人として、また、3児の父親としてのご自身の経験から夫の育児参加、ワーク・ライフ・バランス見直しの必要性を感じ、ファザーリングジャパンを立ち上げられた。父親が育児に参加することで得られる家庭、職場、社会における効果について説明された。

男性は家が「ホーム」ではなく「アウェー」になっている。育休に対する男性の関心は伸びている。男性にも育児の楽しさを知ってほしい。本人の意識啓発を行うとともに、イクボスの育成が重要である。

⑤ 技術士・株式会社 SEC 計画事務所 原田敬美氏

内容：欧米への留学経験などから、日本の労働状況に関する問題点を考察し、改善策を提唱された。学生時代留学したアメリカ・スウェーデン。スウェーデンでは、家庭生活を重要視する働き方。アメリカでは女性学長が何人もいた。日本の労働環境では、①労働環境、②都市構造、③社交スタイル 改善・改革が必須。

その後討論会、原田氏の進行により、登壇者同士の質疑応答や会場との質疑応答を通じて議論を深めた。

◆ まとめ（男女共同参画推進委員会委員長 石田佳子）

男女がともに歩んで行くことが大切であり、そのためには固定観念を払しょくすることが必要である。技術分野へ進む女性が少ない、女性技術者が少ないからリーダー的女性が多にならない。また、アンコンシャス・バイアスも存在する。委員会の役割として、多様なロールモデルを示して女性が迷わず道を選べるようにすること、また、リーダーを一人でも多くするよう努力していきたい。女性の抱える問題は個人によっても異なるため、個々人への適切な対応が大切であり、私たちは声をあげることが大事。男性管理職の皆様には暖かく見守ってほしい。これからも継続して委員会活動を推進していく。

4 ポスター展示

第5分科会として、科学分野の男女共同参画（2枚）、女性会員の紹介（6枚）、委員会紹介（1枚）、キャリアモデル紹介（5枚）、技術サロン提言（1枚）、技術サロン紹介（1枚）等のポスターを展示した。そのほか内海様2点、角谷様1点を展示した。

5. 配布資料（第5分科会参加向け一式袋詰め）

プログラム、委員会案内チラシ、第32回技術サロン案内チラシ、技術サロン報告書、技術サロン通年チラシ、女性技術者育成の提言、アンケートを配布した。そのほか内海様3種、横浜市1種を配布した。

以上

第43回技術士全国大会（横浜）創立65周年記念大会開催概要

日時：2016年11月13日（月）～11月16日0

場所：パシフィコ横浜国際会議場 アネックスホール他

主催：公益社団法人日本技術士会

大会基本テーマ：「技術士の挑戦」～世界・日本の持続的成長を目指して～

内容：別紙大会記念集参照

参加状況：

前日講演会（事前申し込み数）

全国防災連絡会 107人 技術者倫理ワークショップ 106人 青年技術士の集い 60人

分科会（事前申し込み数）

第1防災 130人 第2都市再生 93人 第3環境五輪 63人 第4グローバル展開 77人

第5男女共同 38人

注）分科会は参加者の移動があるので、実質参加者は申し込み数とは異なる

記念式典 432

記念講演 445

各ツアー4件合計 85人

以上